

## 特集 遍在する詩歌

近年、詩歌は、絵本として出版されたり、物語の中に取り込まれたり、詩形式の物語が翻訳されたり、子ども・若者自身がネットで発信したりと、伝統的な詩集・歌集・句集といった枠を超えて、児童文学のあちこちに遍く広がっています。

本特集では、そのような遍在する詩歌の状況を、創作、論考、対談などいろいろな角度から考えてみたいと思います。見回せば、ほら、すぐそこに……。



清少納言 [京都・泉涌寺]

夜をこめてとりのそらねははかるとも  
よに逢坂のせきはゆるさじ

詩歌碑  
あちら  
こちら



正岡子規 [上野公園・  
正岡子規記念球場]

春風やまりを投げたき草の原



松尾芭蕉 [足立区・千住大橋公園]

ゆく春や鳥なき魚の目は泪